

作成年月日：2022年7月2日（Ver.1.0）

久留米大学病院（病院長：志波 直人）では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を共同研究機関より提供を受けています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って仮名加工処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 IgG4 陽性細胞が顕著に出現する膵管内乳頭状粘液性腫瘍の臨床病理学的検討

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（試料・情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：久留米大学医学部 病理学講座 矢野 博久

試料・診療情報等の提供先：久留米大学病院 臨床検査部 内藤嘉紀

【研究分担施設・研究責任者】

- ・別紙参照

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

久留米大学病院 消化器病センターおよび共同研究機関の各診療科において、西暦 2009 年 1 月から西暦 2022 年 3 月までの間に膵管内乳頭状粘液性腫瘍と診断された方。なお、当院においては、西暦 2015 年 1 月から西暦 2022 年 3 月までの患者さんを対象としています。

【試料・診療情報等の項目】

試料：【病理組織標本】

診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、画像データ、血液データ】

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】膵管内乳頭状粘液性腫瘍（以下、IPMN）は膵癌と比較し予後良好な腫瘍です。IPMN には組織亜型があり、それぞれに特性があります。なかには自己免疫性疾患で出現する IgG4 陽性形質細胞が顕著に出現している症例もありますが、臨床病理学的な特徴はこれまで報告されていません。本研究では、IgG4 陽性形質細胞が顕著に出現している膵管内乳頭状粘液性腫瘍の臨床病理学的検討を行います。

【研究（利用）期間】研究実施許可日から西暦 2027 年 7 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：久留米大学医学部 病理学講座 矢野 博久

問い合わせ担当者：久留米大学病院 臨床検査部 内藤嘉紀

電話：0942-31-7400

E-mail: nyoshiki@kurume-u.ac.jp

